

審判上の確認事項

- 1、本大会は、2026 年度公益財団法人日本バレーボール協会 9 人制競技規則を適用する。
また、マスターズ特別ルールを実施する。
- 2、ベンチスタッフ及び選手は競技規則に精通し、これを遵守すること。
- 3、全試合、3 セットマッチのワンボールシステムとする。
- 4、両チームのチームキャプテンは試合開始前にトスをし、ト스에勝ったチームキャプテンは次の選択をする。
 - (1) サーブを打つか、サービスをし、レシーブする権利。
 - (2) どちらのコートに入るか。
ト스에負けた方は残された選択をする。
- 5、公式ウォームアップは、トスによりサーブ権を得たチームから各3分間、または両チームが合同で 6 分間ネットを使用して行うことができる。
- 6、監督またはチームキャプテンは、公式ウォームアップが終了するまでにサービスオーダー票を副審または記録員に提出すること。
- 7、タイムアウトは、次のサービス許可の吹笛までに監督が、監督不在の場合はゲームキャプテンだけが主審または副審にハンドシグナルを示して要求しなければならない。
- 8、選手のユニフォーム(ジャージおよびパンツ)は、清潔でデザインと色はチームで統一されたものでなければならない。
- 9、選手は負傷の原因となる恐れのあるピン、腕輪、指輪等の金属装身具やプレー上有利になるようなものを身につけてはならない。但し、眼鏡は自らの責任において着用することができる。
- 10、ユニフォームを着替えるときは、ゲームキャプテンが主審の許可を得てセット間に行う。但し、同じデザインのユニフォームでなければならない。また、アリーナでの着替えはできない。
- 11、チームの素晴らしいプレーに対して、ベンチの構成員が立ち上がってその喜びを表すような態度は 罰則の対象とならない。しかし、競技役員、相手チーム、チームメイト、更に観衆等に対する不法な行為は罰則の対象となる。
- 12、選手交代の要求とは、中断の間に、プレーする準備のできた交代選手が選手交代ゾーン に入ることをいう。負傷による選手交代やセット開始前での選手交代を除いて監督は選手交代のハンドシグナルを示す必要はない。
- 13、監督は試合を妨げたり、遅らせたりしなければ、自チームベンチ前のアタックラインの延長線からウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で、立ちながらも歩きながらも指示を出すことができる。
- 14、試合の前は、選手15 名がエンドラインに整列し、主審のホイッスルで挨拶する。試合終了後は、コート上の選手9名がエンドラインに整列し、主審のホイッスルで挨拶する。なお、監督、チームキャプテンは、主審、副審にも挨拶する。